

●展望台く松山湿原

やっとの思いで展望台に到着。展望台といっても望遠鏡があるわけではない。大きな岩盤を利用した天然の展望台だ。宇布市街地はもとより、遠くに函岳も見える。目の前には暴れた枝振りのタケカンバが標高の高さと風雪の強さを物語っている。



展望台にある展望台からの眺め。

展望台で休んだお陰で体力も回復。残すはもう半分。傾斜もさつきよりは緩やかだ。少し行くと、ちよろちよると水が沸き出ている場所を発見。天竜沼駐車場に置いてあったリーフレットで確認すると、「不老の泉」という名前が付いていた。いかにも「疲れたでしょう。おいしいですよ。お飲みなさい。」という音で流れている。しかし、エキノコックスの影響も否定できないので、ここはじっと我慢！

気が付くと、まるで盆栽のようなアカエゾマツが立ち並び奇妙な風景に、登山の疲れも忘れ、呆然と立ちつくしていた。



盆栽のような形になった二ウブ松の影響で厳しい風雪

この盆栽のようなアカエゾマツは、通称二ウブ松とい

って、樹齢約三百年もの老木らしい。冬の強い北西風と

ともに飛んでくる氷や雪により、先端部が傷つき、上や北西方向への成長が妨げられており、また、積雪の上の部分は折れたり曲がったりし、積雪より下の部分は雪の重みで傘のような形となっている。冬の厳しさに堪え忍び二ウブ松の姿を想像すると、思わずいとおしさが込み上げてきてしまう。ちなみに、この二ウブ松は湿原の中心から同心円状に生えているというから、驚きた。

湿原には散策できるように一周約千二百メートルの木道が設置されて



ダケカンバの木の穴に生えるトドマツ

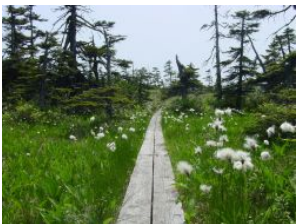
が生えているではないか。老木が倒れて腐り、土の役目を果たし、そこに落ちた木の種が発芽・成長する現象を「倒木更新」というが、どうやらその一種らしい。

二つ目の大きな折り返し地点に到着。もう残りわずかだ。ここまで来るに俄然元気が出てきた。と思った



六月下旬でも雪が残る登山道

ら、またたじろいでしまった。何だ？あの登山道を塞ぐ白い塊はー雪だ。六月下旬だというのに、この一角だけ登山道を覆うように雪が残っていた。



風に揺れるワタスゲ(6月下旬)

細い木道を踏み外さないように慎重に歩いていく。木道の両側には、まるで木道を飾り立てるかの

ようにワタスゲが風に揺られている。湿原には実に一九九種類もの植物が生息しているらしい。そういえば、登山途中にもかなりの種類の植物があった。湿原にもいろいろな植物が生息しているに違いない。立ち止まり注意深く観察してみると、べたべたした葉で小さい虫を捕らえ、養分とする食虫植物のモウセンゴケ、学名ではギリシヤ神話で有名なアン

足下に注意しながら、雪の上を歩いていくと、雪解け跡にはミズバショウが群生していた。

滑り止めのついた木道を注意深く進むと傾斜が平坦になった。ゴールに近い証拠だ。はやる気持ちを押しさえ、ハイマツの間をさらに突き進む。急に視界が開け、見たことのないような世界が目前に広がる。

天空の園、松山湿原だ。

●松山湿原散策

松山湿原は北見山地ヒヤシリ山系の海拔高七九七メートルに位置し、湿原面積は、約二十五ヘクタール。日本で最も北に位置する高地性の高層湿原の一つだ。

「高層湿原」とは標高の高いところにあるという意味ではない。低温多湿の状態で、なおかつ地下水位が高いと、枯れた植物は酸素が足りずに完全に分解されないで積み重なり、泥炭ができる。できた泥炭が水面より高く盛り上がっている湿原を「高層湿原」、水面の下になっている湿原を「低層湿原」というのだ。



食虫植物のモウセンゴケ

ドロメダの名で呼ばれるヒメシヤクナゲなどを見つけた。湿原植物には人目を引くような華々しさはないが、人知れずひっそりと生きている健気さが魅力だ。

しばらく行くと沼に到着。松山湿原には「えぞ松沼」「つつじ沼」「はい松沼」の三つの沼がある。ここは「えぞ松沼」だ。そんなに大きくはない。直径十メートルほどの大きさだ。木製ベンチに腰掛け、しばし休憩。沼の水面が鏡のように空の表情をそのまま映し出し、そのことが逆にこの沼がまるで底なしであるかのような錯覚を抱かせる。時間が止まり、まるで絵画の中にもいるかのような。ずっとこのままだと思った。が反面、あと二つある沼が、今度は自分をどんな世界へ連れて行ってくれるのかとワクワクしていた。



6~8月 (花)
タギボウシ



ネバネバから小さな虫を捕えます
モウセンゴケ



ダケカンバの木から生えるトマツ



風雪に耐え変形したアカエゾマツ
湿原内の木道は一周約1200m



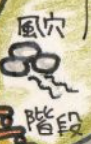
不老の泉

展望台
仁申布市街地はもとより、遠くに函岳も見えます

厚くまで残雪がある

夏にはみどりのトンネル

湿原までは片道約900mの登り



風穴

ここから先は林道



ワタスケ
6月末~7月



1cm太るのはさすがです

1cm太るのに約20年かかります

アカエゾマツ



道有林のアイドル
キアラクター

クマゲラ



大型バスも可

WC

P



ミツガシラ
天竜沼

歩道は一周約500m一部木道